平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	企業戦略基礎 (Corporate Strategy)			授業コード	E045251
担当教員名	泉　丙完			科目ナンバリングコード	E30208
配当学年	3	開講期	後期		
必修・選択区分	コース必修 Bソリューションコース 選択 地域マネジメントコース 会計ファイナンスコース スポーツビジネスコース 福祉マネジメントコース こども・福祉コース	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	教わるだけでなく活発なディスカッションを通して実践的な事業戦略立案能力を身に着けること。				
受講心得	講義では携帯・私語は厳禁。 ただし、演習では活発に討議や発表に参加すること。				
教科書	参考資料配布				
参考文献及び指定図書	経営戦略の基本(経営戦略研究会、日本実業出版社) 戦略策定概論(波頭亮、産能大学出版部) イノベーションマネジメント入門(一ツ橋イノベーション研究センター、日本経済新聞社)				
関連科目	経営学入門、eビジネスマーケティング論、経営学総論				

授業の目的	企業戦略とは、新たなビジネスを創出し、効率的な経営により企業価値を高めていくための方法論である。 本講義の目的は、企業戦略の各手法に基づき、社内外の状況を分析し、戦略を策定し、具体的な行動計画に落とし込むための知識や能力を習得することである。本講義においては、企業戦略の各手法に関する説明だけでなく、模擬的な事業戦略立案の演習を通して、実践的な企業戦略立案能力を身に着けることを目的とする。
授業の概要	本授業では、まず、講義形式により企業戦略を立案するうため各種手法について学んだ後、演習形式により疑似的な企業戦略を立案する。具体的には、講義形式による授業では、社内外における各種環境分析、目標設定、経営効率化、企業戦略策定プロセス、企業戦略評価やイノベーション戦略について学んだ後、 演習形式の授業において、グループ単位で模擬的に企業戦略の立案を行う。演習形式の授業では、グループ毎の分析や事業戦略を発表し、ディスカッションすることにより、実践的な企業戦略立案能力を修得するようにする。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： オリエンテーションと概要 企業戦略概要。企業戦略とは何か、目標や基本的な流れ、ポイントについて学ぶ。 また、授業の進め方やグループ単位による演習の進め方等についても説明する。	配布資料に基づき、企業戦略概要をまとめる。(1h)
第 2 週 ： 外部環境分析 企業を取り巻く外部環境分析として、PEST(政治、経済、社会、技術)分析や5Fources分析、3C分析やSWOT分析について学ぶ。授業ではこれら各分析手法の方法について事例等を用いてい分かりやすく、実践的な活用方法を理解してもらいようにする。	配布資料に基づき、外部環境分析をまとめる。(1h)
第 3 週 ： 外部環境分析演習 第2週において学んだ「外部環境分析」の各手法を用いて、グループ単位で疑似的にある企業を対象とした外部環境分析を演習形式で実施する。演習では、グループ単位でまとめた外部環境分析を発表し、ディスカッションを行う。	
第 4 週 ： 内部環境分析	

企業における内部環境分析として、バリューチェーン分析、VARIO（経済価値、希少性、模倣困難性、組織）分析等について学ぶ。授業では実践的な分析手法の方法を、事例等を用いてい分かりやすく理解してもらいようにする。	配布資料に基づき、内部環境分析をまとめる。（1h）
第 5 週 ： 内部環境分析演習 第4週において学んだ「内部環境分析」の各手法を用いて、グループ単位で疑似的にある企業を対象とした内部環境分析を演習形式で実施する。演習では、グループ単位でまとめた内部環境分析を発表し、ディスカッションを行う。	
第 6 週 ： 目標設定と事業計画 企業戦略におけるドメイン（事業領域）や目標をどのように設定し、その目標を実現するため、どのように事業計画に落とし込むかを学ぶ。また、その計画を実現する指標としてKPIをどのように設定し運用するかを学ぶ。	配布資料に基づき、目標設定と事業計画をまとめる。（1h）
第 7 週 ： 目標設定と事業計画演習 第6週において学んだ「目標設定と事業計画」の方法を用いて、グループ単位で疑似的にある企業を対象とした目標設定と事業計画の策定を実演習形式で施する。演習では、グループ単位でまとめた目標設定と事業計画を発表しディスカッションを行う。	
第 8 週 ： 経営効率化 企業のパフォーマンス向上の観点から、経営資源をどのように配分することにより全社的な最適化できるかを学ぶ。授業では実践的な経営効率化の方法を、事例等を用いてい分かりやすく理解してもらいようにする。	配布資料に基づき、経営効率化についてまとめる。（1h）
第 9 週 ： 経営効率化演習 第8週において学んだ「企業経営効率化」の方法を用いて、グループ単位で疑似的にある企業を対象とした経営効率化を演習形式で検討する。演習では、グループ単位でまとめた経営効率化案を発表しディスカッションを行う。	
第10週： 企業戦略策定 企業戦略を具現化するため、どのように定量的な目標を設定し、中長期の事業戦略を立案し、管理を行っていくかを学ぶ。授業では実践的な企業戦略策定の方法を、事例等を用いてい分かりやすく理解してもらいようにする。。	配布資料に基づき、経営戦略策定についてまとめる。（1h）
第11週： 企業戦略策定演習 第10週において学んだ「企業戦略策定」の方法を用いて、グループ単位で疑似的にある企業を対象とした企業戦略策定を演習形式で検討する。演習では、グループ単位でまとめた企業戦略案を発表しディスカッションを行う。	
第12週： 企業戦略評価 企業戦略の競争的優位性を構築するため、設定した目標に対する評価方法を学び、評価に基づいて複数の戦略代替案の中から有効な企業戦略を決定するプロセスを学ぶ。授業では実践的な企業戦略評価の方法を、事例等を用いてい分かりやすく理解してもらいようにする。	配布資料に基づき、経営戦略評価についてまとめる。（1h）
第13週： 企業戦略評価演習 第12週において学んだ「企業戦略評価」の方法を用いて、グループ単位で疑似的にある企業を対象とした企業戦略評価を演習形式行う。演習では、グループ単位でまとめた企業戦略評価を発表しディスカッションを行う。	
第14週： イノベーション戦略 企業において新たな付加価値を生み出すイノベーションとは何か、どのようにイノベーションを発想していくかについて学ぶ。授業では、具体的な製品開発事例等を用いて、分かりやすくイノベーション戦略を理解してもらうようにする。	布資料に基づき、イノベーション戦略についてまとめる。（1h）
第15週： イノベーション戦略演習 第14週において学んだ「イノベーション戦略」の手法を用いて、グループ単位で疑似的にある企業を対象としたイノベーション戦略を演習形式で検討する。演習では、グループ単位でまとめたイノベーション戦略案を発表しディスカッションを行う。	

第16週： 試験 試験により、学習内容の習得状況の確認		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	企業価値を高めるための事業戦略立案に興味を持つこと。
【知識・理解】	企業戦略を立案するための各種手法に関する基礎知識を修得する。
【技能・表現・コミュニケーション】	現状分析に基づき企業戦略を立案し、プレゼンし、ディスカッションすること。
【思考・判断・創造】	企業価値を高める企業戦略を立案できるようになること。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	10点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	30点	10点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	20点		10点	

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート 期末試験	各講義毎の改題レポートおよび期末試験の総合評価による。 また、出席状況、受講態度も考慮する。
発表・その他（無形成果）	各演習における発表内容やディスカッションへの参加態度も考慮する。